

# 番組審議委員会議事録

株式会社 衛星劇場

- 1.開催年月日 平成 24 年 9 月 28 日（金） 12：00～13：00
- 2.開催場所 銀座東武ホテル
- 3.委員の出席 委員総数 7 名  
出席委員数 5 名（品田雄吉、田中康義、小山観翁、  
堀江ミエ子、伊藤信太郎）  
欠席委員数 2 名（山内静夫、坂田藤十郎）
- 4.放送事業者側出席 5 名（油谷昇 [代表取締役社長]、山崎克己 [監査役]、  
井田寛 [常務・編成担当]、藤本弘之 [取締役・営業担  
当]、尾崎誠 [編成部長]）
- 5.議事の概要
  - ・衛星劇場の現状報告
  - ・ホームドラマチャンネルの現状報告
  - ・今後の放送番組について
  - ・営業報告
- 6.議事内容
  - 衛星劇場チャンネル
    - ・衛星基幹放送である e2 において、10 月 1 日より、4.8 スロットから 6 スロ  
ットへと帯域が増えた。
    - ・帯域が増えたことで、画角、画質の向上につながり、お客様にも満足しても  
らえる放送が可能になる。
    - ・10 月のスタート時点では 73%の字幕普及率を、将来的には 100%を目指し  
てやっていく。
    - ・8 月 17 日スタートの「天地人」主演であるソン・イルグクが、8 月 15 日に  
領土問題抗議活動を行い、竹島に泳いで渡る事件が起きた。視聴者からいろ

いろな意見が寄せられたが、衛星劇場としては作品の内容は政治色の強いものではなかったので、通常通り放送。

- ・舞台放送も定着してきた。歌舞伎では、市川猿之助襲名特集を2か月にわたり放送。スカパーなどからも取り上げられる機会が多く、好評な企画であった。
- ・舞台中継の収録でも、衛星劇場で収録、放送ということが演劇界で知られ始め、こまつ座や俳優座、東京ヴォードヴィルショーなどの舞台収録が出来るようになってきた。

#### ○ホームドラマチャンネル

- ・視聴機会を増やしてもらうために、10月より改編を行う。改編のポイントは、韓国ドラマの一举放送が、早朝と深夜の2作品に。また毎月のイチオシの特集が土日月の午後8時からの放送になる。これはリアルタイムの視聴を期待して編成している。
- ・韓国ドラマはベーシック初放送を中心に、台湾ドラマは日本初放送を中心に編成していく。
- ・年末年始やゴールデンウィークの一举放送は好評のため、今後も引き続き編成していく。

#### ○営業報告

- ・プラットフォームの加入はどこも苦戦している。どうやって見てもらうかが、引き続き課題。
- ・その中でスカパーは名称を変えて一元化を図り、加入増加を期待している。視聴者に分かりやすい商品ラインナップを構築していく。

以上